



# 図書館だより

## ☆いよいよ開幕！！パリオリンピック・パラリンピック☆

今年は、うるう年。8月から9月にかけて、フランス・パリでオリンピックとパラリンピックが開催されます。楽しく観戦するために、オリンピックとパラリンピックや開催地であるフランスについて、興味深く読むことができる本を紹介します。

### ☆『オリンピック・パラリンピックを学ぶ』（後藤光将 岩波書店 2020）

なぜオリンピックは「平和の祭典」といわれるのでしょうか？パラリンピックはどのようにして生まれ、発展してきたのでしょうか？オリンピズムやパラリンピズムといわれる理念とは？「4年に1度のスポーツイベント」にとどまらない本来のオリンピック・パラリンピックの意義を学ぶための基礎知識を読むことができます。



### ☆『自分らしく生きる フランスのことばと絶景100』（地球の歩き方編集室 学研プラス 2022）

フランスの有名な格言やことわざから、前向きに生きることのヒントを与えてくれる1冊。幸せを感じたいとき、背中を押してほしいとき、優しい気持ちになりたいとき、美しい景色の写真と共にあなたの心に寄り添ってくれることばを探してみませんか？フランスの絶景スポットにもきっと魅せられるはずです。

### ☆『パラリンピックと日本一知られざる60年史』（田中圭太郎 集英社 2020）



「パラリンピック」の名を冠して初めての国際スポーツ大会は、1964年の東京パラリンピックです。イギリスの小さな村の病院で行われた障害者スポーツ大会を始まりとして、この病院で研修した一人の日本人医師が東京大会を実現させたのが、現在に至るパラリンピックの源流です。そして、リハビリスポーツから競技スポーツへと進化していく過程でも、多くの人々の活躍と苦闘がありました。パラリンピック60年の歴史を紐解きながら、これに関わった多くの人びとのドラマが描かれています。

### ☆『フランス人は10着しか服を持たない』（ジェニファー・L・スコット 大和書房 2014）

間食はせず、食事を存分に楽しむ。上質な物を少しだけ持ち、大切に使う。日常のなかに、ささやかな喜びを見つける。典型的なカリフォルニアガールだった著者は、フランスの貴族の家にホームステイすることになる。その家を取り仕切るマダム・シックから学んだことは、毎日を“特別な日”のように生きること。



☆暑い日が多くなってきました。しっかり水分補給しましょう。☆

図書館内への持込み可能な飲料は

○水やお茶などのおいのしないもの

○蓋付きの容器（ペットボトル、水筒など）に入っているもの です。